

# 議会を知るとともに、柘植を伝えた2時間半

## 伊賀市議会報告会



左から、赤堀久美議員、中谷一彦議員、  
森川徹議員、空森栄幸議員

**議会報告会開かれる**  
10月27日(木)夜、市民センターで今年度の議会報告会が開催され、4人の市議会議員さんと52名の参加者がじっくりと懇談しました。

# 柘植地域 まちづくりだより 第178号

**発行** 柘植地域まちづくり協議会事務局  
(柘植地区市民センター内)

三重県伊賀市柘植町一〇六四七番地

〒五一九一四〇二

電話 四五・八八八〇 FAX 四五・八八八三

**発行日** 二〇一六(平成二十八)年十一月十五日(火)

冒頭、9月議会の内容について報告があり、その後、柘植地域に関わる内容のテーマで意見交換などをしました。

### 柘植地域に関わった主な内容

- ① ふるさと会館いが・伊賀支所・柘植公民館などに関わる伊賀市の「公共施設最適化計画」の見通しや文化財の将来を見越した管理について
- ② 「朝古川浄水場」などの廃止計画を含む水道事業の問題、また後を絶たない不法投棄や空き地管理、太陽光発電など、環境に関わって
- ③ リニア新幹線開通を見越したJR柘植駅や草津線・関西線について、また行政バスなどの公共交通のありようについて
- ④ 地域の子どものための教育や図書館運営のあり方、またさまざまな人権課題解決に向けての方策に関わって
- ⑤ 住民による「小規模多機能自治」をめざした伊賀市行政の支援のありようについて



→ 熱心に意見交換ができました。



## 優雅に…

斎王群行、盛大に開かれました!  
(↓詳しくは2ページ)



斎王役(山本千恵子さん)



# 第14回伊賀の国 柘植の齋王群行を終えて

今年は10月10日(月・体育の日)の開催となり、最高の天気にも恵まれました。

今回の群行は、本コース(齋宮芝方面)の群行ではなく、「上村区・前川区・山出区」を巡る群行となりました。(今回で柘植地域12区を一通り廻ることができました。)

行く先々の各区では、たいへん歓迎していただき、特に上村区では多くの皆さんのお出迎えに感激しました。

毎回の事ですが、スタッフの皆さんには様々な準備作業をしていただいております。



↑今年も活躍! あけぼの学園高校生

ます。特に今年  
は女性部会の皆  
さんに「手作り  
ちらし寿司」を  
190食作って  
いただきました。  
「美味しい、お  
代わりをしたい」  
とのお褒めの声  
が上がっていま  
した。

また齋王の衣装と、介添え役の衣装を4名の方の手で約1か月かけて新調いたしました。これからも毎年少しずつ衣装を増やしていきたいと考えています。

## 準備万端ととのえて、 すばらしい群行となりました



「齋王・禊の儀」の練習は3回も行いまして、準備万端! 90名の役者さんによる立派な群行が出来たのでした。

その陰には、各種団体のご協力、あるいは資金面で地区の皆さんよりご支援をいただいたことがあったことは言うまでもございません。

来賓には岡本市長をはじめ28名の方にお越しいただき、中には「柘植でこのような立派な行事があると、初めて知りました」の声もありました。今後伊賀市のお祭りのひとつに数えてもらうことをめざして「いがまち観光振興会」からは補助金もいただくことができました。

来年度は「第15回」を迎えます。節目の年となりますので、新しい体制で、早くから準備を行い素晴らしい群行行事を開催したいと思っております。

一層皆さん方のご支援、ご協力をお願い申し上げます。有難うございました。

第14回実行委員長

中村忠明



斎王群行行事の内容に、今回より群行にちなんだ「俳句大会」が加わりました。全部で百首余りの投句の中から次の方々の句が選ばれました。

# 作品選入俳行群王齋

## 特選

コスモスも 簪も揺れ 葱華輦

伊賀市柘植町 吉岡 好子

(評)「コスモスも簪も揺れ」が群行当日の好天と群行に盛り上がる雰囲気、を伝えている。

## 会長賞

葱華輦 銀木犀の 風走る

伊賀市柘植町 菰下 明日香

(評)斎王が乗る葱華輦は群行の主役だ。当然ほとんどの作がこれを詠んでいた。この作を採ったのは「銀木犀の風」の動きである。十六歳の感性がとらえたこの風は実に爽やか。

## 入選

御簾上げて 斎王も見る 秋桜

伊賀市柘植町 橋本 秀子

秋仕舞して 群行の隊列に

宇治市木幡平尾 戸田 文代

花野へと 斎王群行 遠ざかる

伊賀市柘植町 西野 登志子

斎王の 秋日揺らして 襖の儀

伊賀市山畑 山下 久美

斎王の 揺るる簪 秋日濃し

伊賀市山畑 谷口 千代

(選者：俳誌「山繭」主宰 宮田正和氏)

## 健康づくりとまちづくり 関宿ウォーキング大会

健康の駅長

10月30日(日)朝、柘植駅に34名が集合。JRを使って、一路、関へ。駅では観光ボランティアさんが出迎えてくれました。

「関宿」は、東海道五三次の47番目の宿場で、東西に約1・8kmの町並みをゆったりと見学しました。

電線はすべて地下に埋められ、見た目もすっきりとしていて、今でも江戸時代の町並みが残っています。

関まちなみ資料館では、百六里庭(江戸からの距離から名付けられた)・眺関亭(ちようかんてい)から家並みを一望出来ました。

次に、民間の旅籠で最大の「玉屋」を見学。当時の相場で60文の宿賃が、250文だったそうです。

建物の特徴として、二階正面の漆喰で塗り籠めた虫籠窓(むしこまど)や、屋根が波打った起こり屋根(むくりやね)、入口横の窓のシャッターである、すりあげ戸など、当時の人々の建物へのこだ

わり、財力の見せ所を知ることが出来ました。

また、「関の山」という言葉の語源にもなった関の山車は、最盛期には十六基あり、華美を競い、関宿を練ったそうで、現在でも4基の山車が4か所の山車倉に保存されています。

関の地蔵さんのある「地藏院」は「関の地蔵に振り袖着せて 奈良の大仏婿に取る」で有名です。旅人の信仰を集めて今も多くは日参客で賑わっています。当時は日に一万余りの人出で栄えていた宿場でしたが、現在は静かな町並みが続いています。

こんな名所が柘植の近くにあることへの驚きと、古い町並みの維持保存に努力している地元の人たちの熱意が伝わってきました。



素晴らしい関の文化財を見学し、健康増進、JRの利用促進、加えて景観と歴史を生かした関のまちづくりに触れた充実した一日でした。

# 社会をつくるのは一人ひとりの想いと行動から



## 柘植地域人権フェスティバル

11月5日(土)、柘植中の文化祭に合わせ、「2016地域人権フェスティバル」が柘植中学校体育館で開催されました。ゲストの木脇嶺さんと中田智子さんが、午前中の中学生による舞台発表の内容を交えながら、自分の体験・学びを通したメッセージを届けてくださいました。地域や保護者約40名も生徒・教職員の皆さんの学びを共有いたしました。

## 特集 柘植地域の公共施設

### その8 老人憩いの家

柘植老人憩いの家は、介護予防生活支援施設です。市民の憩いの場を提供することを目的に、平成5年に設置され、平成12年には増改築(建築面積331.4㎡)がなされました。

施設内にはリハビリ室等があり、遠赤外線治療器、フットマッサージャー、ベッドマッサージャー、ヘルストロン、血圧計などがあります。健康なうちからサロンのような雰囲気での介護予防のために、利用できる施設となっています。



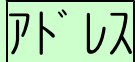
開館時間  
朝9時～夕方5時  
<12時～13時は使えません>  
日曜祝日、年末年始を除く  
☎ (45) 6588



○●事務局だより○●  
▼スポーツの秋! 11月6日に忍者トレイルランニング大会が開催されました(詳細は次号)。▼阿波のさるびの温泉を出発ゴール地点にして、霊山・旗山・北内山・油日岳を150人以上の健脚の持ち主が走破しました。▼途中、エイドステーションとなった柘植地区市民センターに大勢のランナーたちが立ち寄ってくれました。▼話題は変わりますが、健康ウォーキング(今号記事)や人権啓発合同FW(次号記事)が先日ありました。▼訪れらる方も多数の方が参加して下さいました。▼訪れはともども大切です。▼  
「また行きたいな、また来たいな」と思える交流ができればステキです。そんなまちづくりを進めたいものです。  
(西田方計)

**リニューアル しました!**  
柘植地域まちづくり協議会<公式ホームページ>

スマホ対応画面になっていますので、どなたにとっても便利になりました。今後、お知らせ情報などを中心に掲載していきますので、ご利用ください。

 <http://tsuge@jpn.org>

※近々、住民向けスマホ講習会を開催する予定です。